

令和5年度 モビリティ・観光立国系
一般職(大卒程度)
内定者 GUIDEBOOK



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

課題先進国、日本。

急激な人口減少、超高齢社会の到来。
頻繁に起こる自然災害、伸び悩む経済、激化する国際競争。

前例のない課題の数々に対し、この国の未来をどのように描き、
カタチづくっていくのか。

私たちは、考える。

この国をもっと良くするために。

私たちに出来ること。
私たちがやるべきこと。

私たちの挑戦は始まっている。

国土交通省

この国をつなげる。未来をカタチにする。



= 目 次 =

1

概要説明

組織概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

採用活動と人事異動について・・・・・・・・・・ P 4

内定者基本情報紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

2

国家公務員採用試験対策

3

官庁訪問対策

4

その他お役立ち情報満載



組織概要

○国土交通省とは

- ・国土の総合的かつ体系的な利用、開発および保全、そのための社会資本の総合的な整備、交通政策の推進、気象業務の発展並びに海上の安全および治安の確保などを担う官庁
- ・2001年（平成13年）1月6日に、旧4省庁（北海道開発庁、国土庁、運輸省及び建設省）を母体として設置

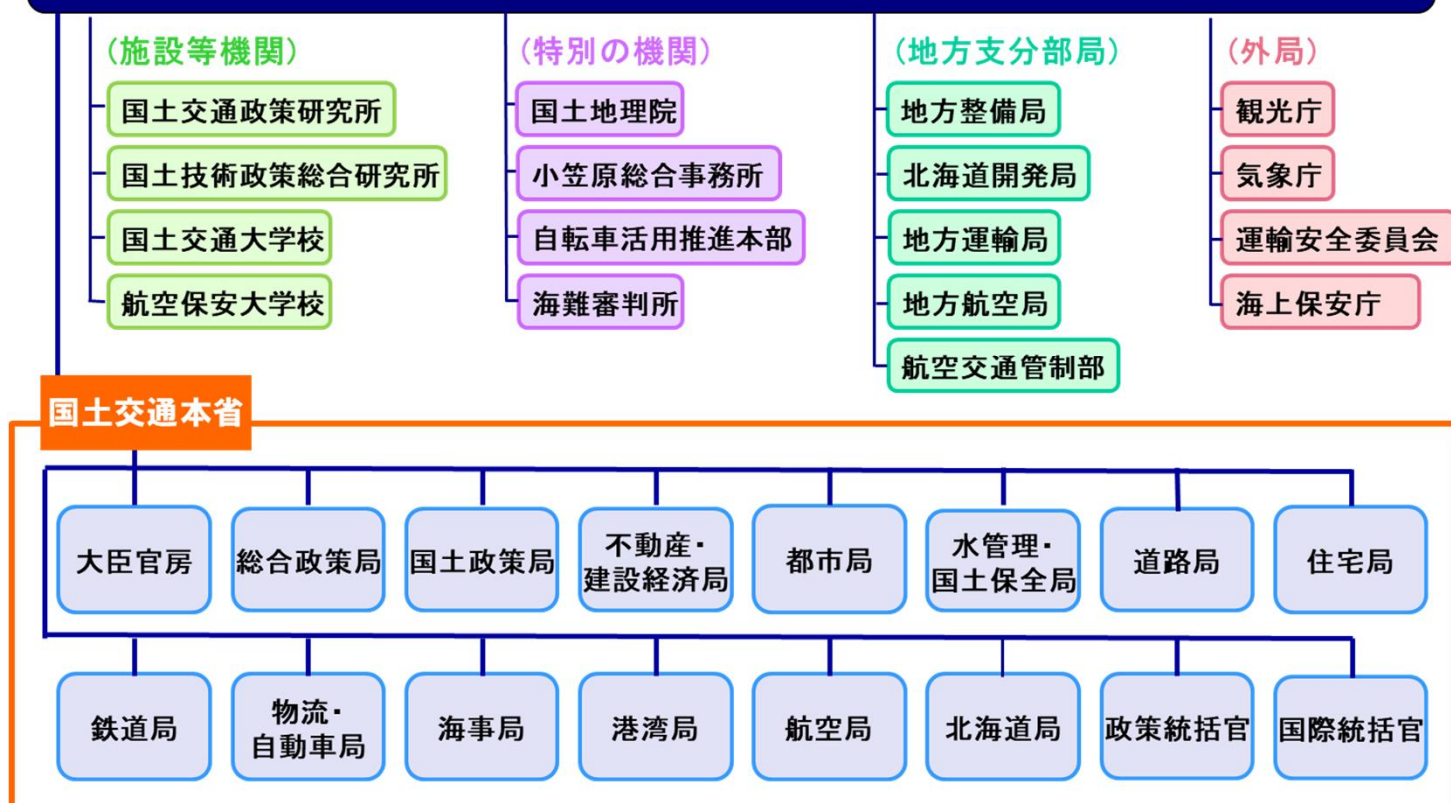
○使命

「国民の命と暮らしを守る」

○国土交通行政の5つの目標

1. 自立した個人の生き生きとした暮らしの実現
2. 競争力のある経済社会の維持・発展
3. 安全の確保
4. 美しく良好な環境の保全と創造
5. 多様性のある地域の形成

国 土 交 通 省





採用活動と人事異動について

国土交通本省では、採用活動と人事異動は【社会資本整備系】と【モビリティ・観光立国系】の2つの系統に分けて行われます。系統間をまたいだ異動はありません。

官庁訪問の予約時にどちらかの系統を選択していただきます。

入省後に系統を変更することはできません。

国土交通本省・観光庁

〔1〕大臣官房

共通

〔2〕総合政策局

〔3〕国土政策局

〔4〕不動産・建設経済局

〔5〕都市局

〔6〕水管理・国土保全局

〔7〕道路局

〔8〕住宅局

社会資本整備系

（インフラ整備・防災対策）

〔9〕鉄道局

〔10〕物流・自動車局

〔11〕海事局

〔12〕港湾局 【※】

〔13〕航空局 【※】

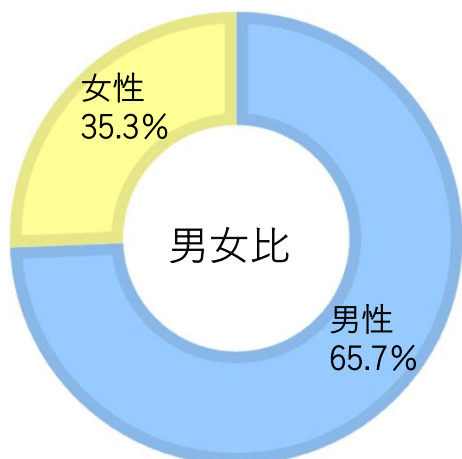
〔外局〕観光庁

モビリティ・観光立国系

〔14〕北海道局 〔15〕政策統括官 〔16〕国際統括官

【※】モビリティ・観光立国系の港湾局と航空局へは本省採用からの配属はありません。配属を希望される方は各地方整備局、各地方航空局での採用面接を受けてください。

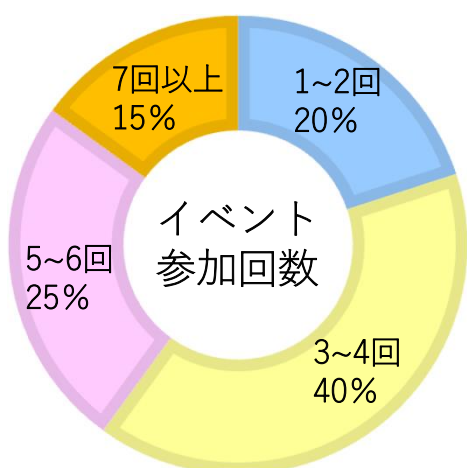
内定者の基本データを大公開！！



積極的に女性も採用しています。
今年度の女性内定者の比率は
全体の35.3%です！

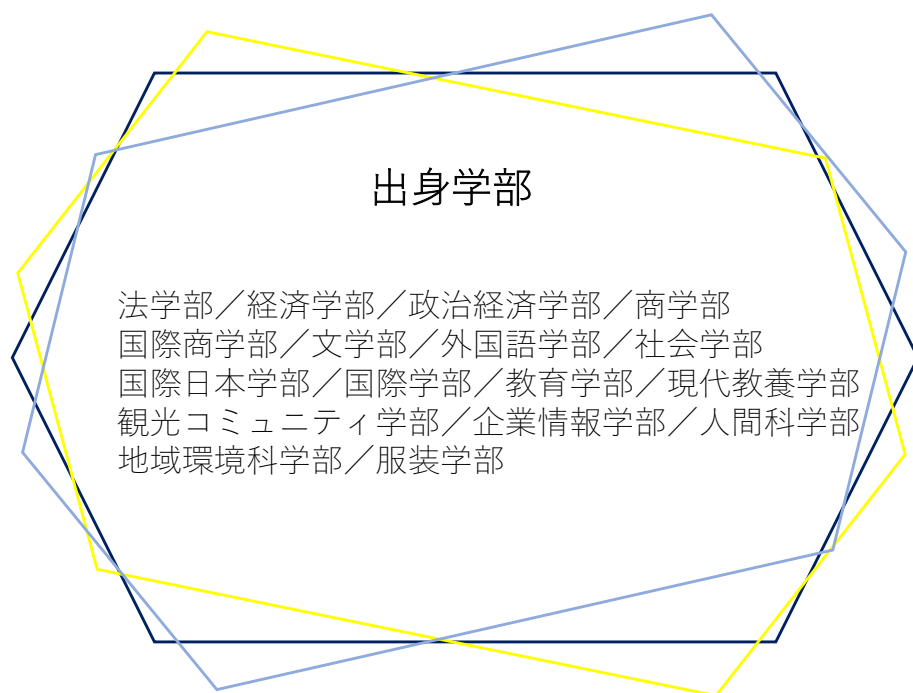
出身地		
茨城県	埼玉県	千葉県
東京都	神奈川県	新潟県
富山県	福井県	静岡県
大阪府	兵庫県	愛媛県
熊本県		

首都圏在住の学生ばかりではありません！
毎年様々な地域の学生が内定を勝ち取っています ✨



※新卒者向け採用イベント

オンラインでもイベントを開催しており
地方在住の学生も気軽に参加できるよう
になっています！



国公立・私立問わず、出身学部は関係ありません！
志を高く持った学生の皆さん、大歓迎です！

1

概要説明

2

国家公務員採用試験対策

勉強方法・最も力を入れた試験・・・・・・・・P 7

教養試験対策・・・・・・・・・・P 8

専門試験対策・・・・・・・・・・P 9

論文試験対策・・・・・・・・・・P 10

人物試験対策・・・・・・・・・・P 11

試験対策で苦労・工夫したこと・・・・P 12

公務員試験を振り返っての反省点・・・・P 13～15

3

官庁訪問対策

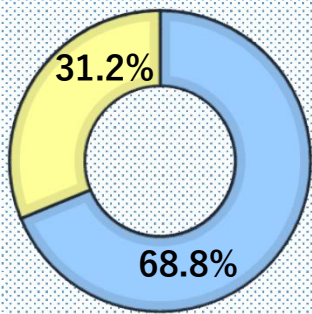
4

その他お役立ち情報満載

試験対策編

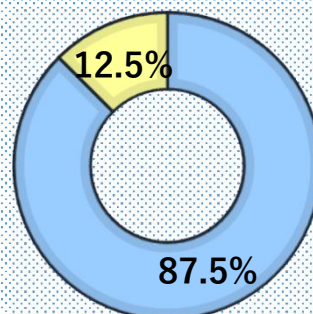
Q 1

公務員試験対策の為に勉強方法を教えてください。
また、対策に最も力を入れた試験は何ですか？



勉強方法

- 予備校
- 大学の公務員講座



最も力をいれた対策

- 専門試験対策
- 人物試験対策

専門試験派

- ・試験の中でも専門試験の配点が高いため。
- ・専門科目が全て初めて勉強する内容であったため、時間をかける必要があると思ったから。
- ・暗記中心の専門科目なら頑張れば点数を稼ぐ事が出来ると思ったから。
- ・他の受験生と差をつけられると思ったから。
- ・教養試験科目が苦手だったため、専門試験科目を得点源にしようと思ったから。

など

人物試験派

- ・最終合格のためには必ず面接を突破する必要があるため
- ・人物試験で他の受験生より良い評価を得るため

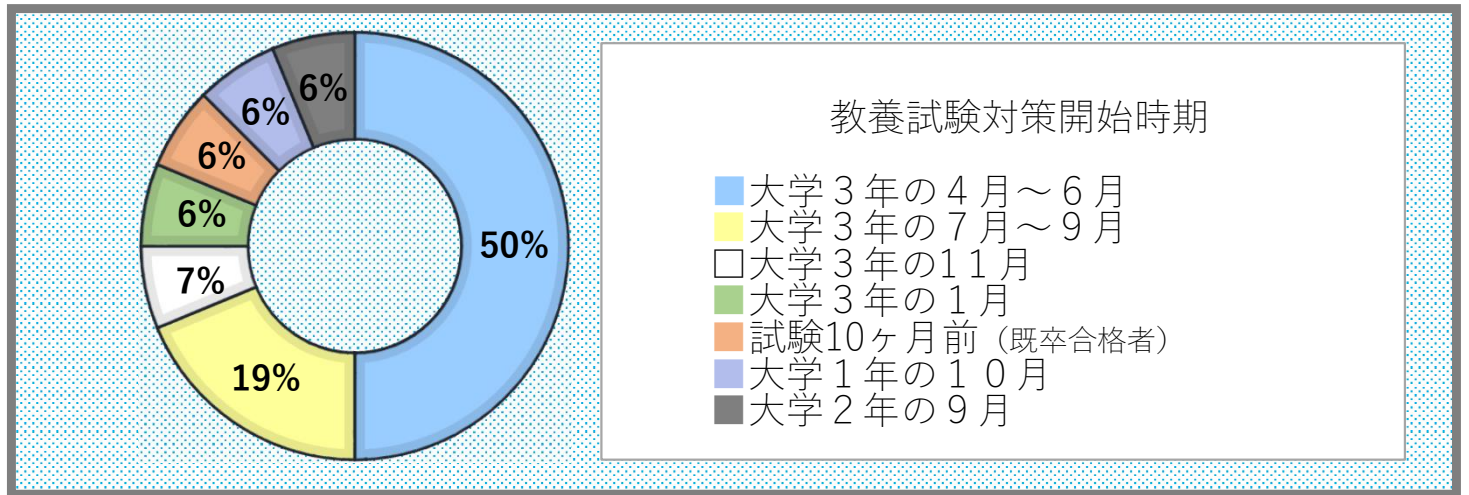
など



Next question>>

Q 2

教養試験対策の開始時期や
対策方法、試験の感想を教えてください。



試験対策

- ・特に配点の高い数的処理、文章理解に力を入れて取り組んだ。
- ・数的処理は必ず毎日解くようにしていた。
- ・予備校の授業後に問題集を解いて知識を定着させた。
- ・時事問題は、日頃からニュースを見るように意識し、常に情報をインプットしていた。
- ・実際の試験と同じように午前中に勉強をしていた。
- ・自分の中の捨て科目は、対策も本番も時間をかけないようにした。
- ・予備校の問題集やスー過去を繰り返し解いた。
- ・1日20問ずつ解くことでアウトプットしていった。

など

試験の感想

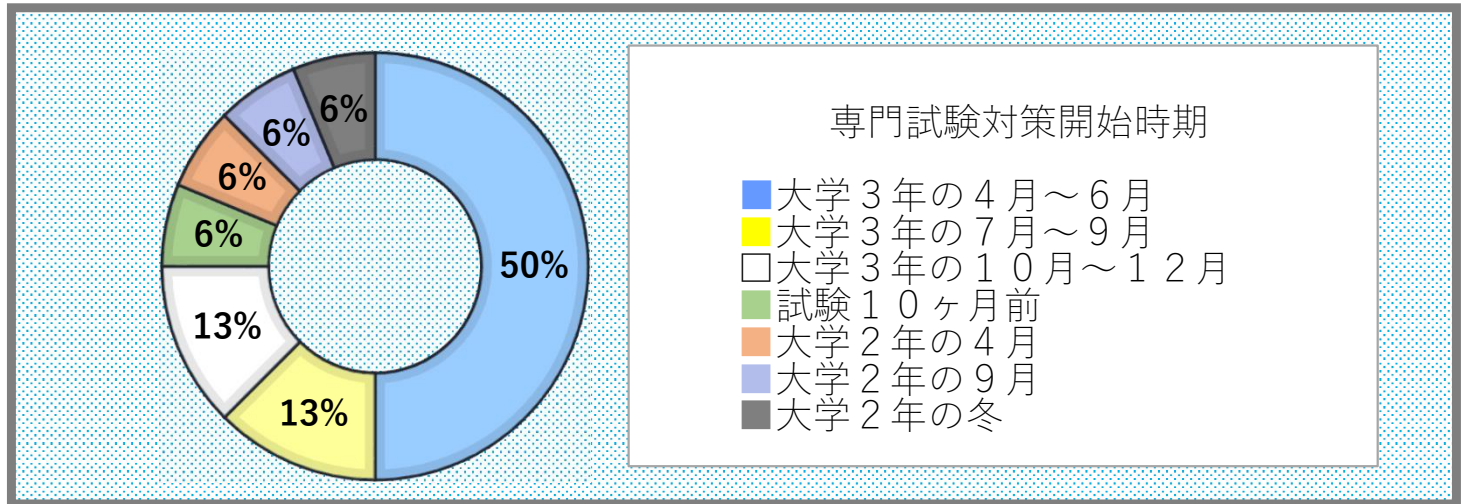
- ・資料解釈など確実に点数が取れる問題を落とさないように時間配分に気をつけた。
- ・試験当日は、時間が足りなかった。
- ・分からなかった問題は勘で答えたが、合格点をとれた実感はあった。
- ・自己ベストを出すことができた。
- ・時間ギリギリで焦ったが、切り替えて専門科目に望んだ。
- ・自分が解きやすく、点につながりやすい問題を先に解いた。

など

試験対策編

Q 3

専門試験対策の開始時期や
対策方法、試験の感想を教えてください。



試験対策

- ・夏までに法律、秋までに経済、冬から直前期まで学系と数ヶ月ごとにざっくりとした目標を立てて学習を進めた。
- ・なるべく多くの科目に触れて当日の選択肢を増やせるようにした。
- ・とにかく覚えることが多かったので、部屋の至る所に問題を貼った。
- ・予備校の問題集をひたすら解いた。
- ・1日の中で各教科時間を決めながら効率よく学習した。
- ・間違えたときにどこで間違えたかを把握すること大事にしていた。
- ・3～4日で全部の教科に触れることができるように計画を立て、満遍なく勉強をするようにしていた。

など

試験の感想

- ・専門試験は試験時間が長いということもあり落ち着いて問題を解くことができた。
- ・複数の科目でヤマが外れたが、2科目多く勉強していたのでカバーできた。
- ・予定していた科目とは異なる科目を選択した。
- ・当日の難易度が科目によって異なるので多くの科目を対策しておくといよい。
- ・試験時間が長い上に、冷房が効いてる部屋だったので、羽織り物を持って行けばよかった。
- ・途中退席はせず、繰り返し解き直したり、何度も見直しを行った。

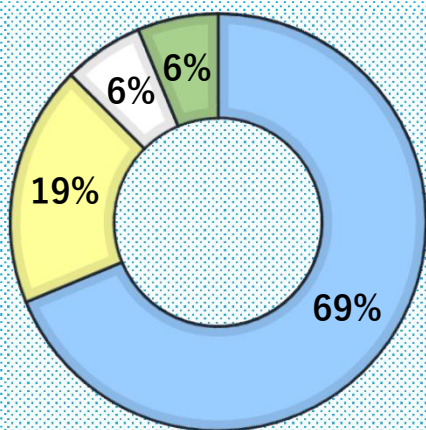
など

Next question>>

試験対策編

Q 4

論文試験対策の開始時期や
対策方法、試験の感想を教えてください。



人物試験対策開始時期

- 大学3年の1月～3月
- 大学3年の10月～12月
- 大学4年の4月
- 試験4ヶ月前

試験対策

- ・ 予備校の授業や添削で対策をしていた。
- ・ 1週間で1本論文を書くことを目標とし、書いたものを予備校の先生に添削してもらっていた。
- ・ あまり対策はしなかった。
- ・ テレビやSNSで政治・経済のニュースを多く見ることを心がけた。
- ・ 論文対策の本を買って、まねすることから始めた。
- ・ どんなテーマがきても同じような構成で書くことや一文を簡潔にすることを意識した。
- ・ 論文対策の講座で提示された模範解答20個ほどを丸暗記した。
- ・ 予備校の先生や第三者にみてもらって意見を聞くようにした。
- ・ 新聞を見て様々なテーマに備えて情報を集め、3月頃から2日に1回くらいのペースで書いた。

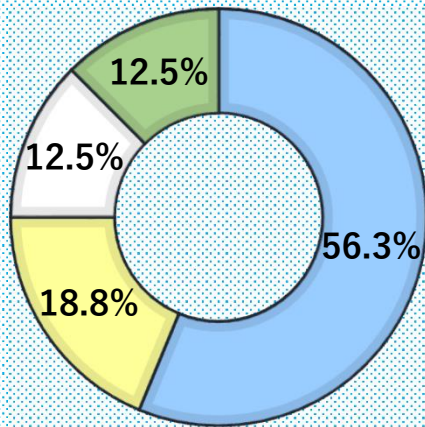
試験の感想

- ・ 予想していないテーマだったので、最初は焦ったが、テーマに沿った内容を書くことを意識した。
- ・ 良いものではなく、落とされないものを書くようにした。
- ・ 時間配分を含めて対策するとよい。
- ・ 手応えは全くなく、合格を諦めた。
- ・ 対策しきれなかったが、ヤマがあたりなんとなかった。
- ・ 自分の専攻分野の内容だったので、比較的記述しやすかった。

試験対策編

Q 5

人物試験対策の開始時期や
対策方法、試験の感想を教えてください。



人物試験対策開始時期

- 一次試験終了後
- 大学4年の4月～5月
- 大学3年の1月～3月
- 大学3年の10月

試験対策

- ・ 予備校の模擬面接や大学のキャリアセンターを利用したり、親や友人など第三者に見てもらい、意見をもらっていた。
- ・ 中学生からの出来事を振り返り自分がどういう人物なのかを見つめ直した。
- ・ 結果的に辞退したが、大学3年の秋冬に民間企業の早期選考を受けていたため、早めに対策を行っていた。
- ・ 自信があったので、特に対策は行わなかった。
- ・ 暗記したことをただ話すのではなく、自分の言葉で話すよう意識した。
- ・ 想定問答などをWordにまとめ、自分の言葉で伝えることができるよう練習した。

など

試験の感想

- ・ 人事院の面接は官庁訪問後のため、面接慣れをしてきたということもあり、それほど緊張せずに自信を持って臨むことができた。
- ・ 面接が想像以上にスピーディで途中で早口になってしまったが、質問は思ったよりあっさりしていた。
- ・ 民間企業の面接とあまり違いはなかったため民間企業の面接経験が役立った。

など

Next question>>

Q 6

公務員試験対策で苦労したことや工夫したことを教えてください。

苦労したこと

- ・シフト制で夜勤がある仕事だったので、勉強時間の確保に苦労したが、仕事後に一度仮眠をし、予備校の自習室へ行くことで周りの学生から刺激を受けながら勉強した。
- ・学業との両立に苦労したが、学部の講義で扱った判例は公務員試験でも活き、公務員試験の勉強で得た知識で大学の講義の理解がより深まった。
- ・サークルやゼミとの両立は大変だったが、区切りの良いタイミングでの引退や仲間の理解を得たことで、うまく両立できた。

など

工夫したこと

- ・試験前はバイトのシフトを減らして、勉強時間を確保しつつ、バイト仲間と勉強以外の話をして息抜きをしていた。
- ・公務員試験は長丁場なため、勉強だけを続けるのは困難であると思い、適度にアルバイトや遊びに行く日を設けたり、やる気の出ない日は思い切って何もやらないなどメリハリをつける事を意識した。
- ・勉強時間を記録すると自分の怠けが可視化されるのでだらけてしまう人にはおすすめです。
- ・バイトや予備校をまとめられるときはまとめることでフリーの日を作れるようにした。

Q 7

試験勉強中の息抜き方法は？

第1位 友人と会う

第2位 体を動かす

第3位 飲みに行ったり、
おいしいものを食べる



○その他の回答

- ・ドライブ
- ・サウナ
- ・ゲーム
- ・アルバイト
- ・ランニングなど体を動かす
- ・科目変更
- ・散歩
- ・YouTube
- ・ちょっと良いランチ
- ・週1のオフ
- ・10分くらいの昼寝
- ・ゆっくりお風呂に入る
- ・電話

Q 8

公務員試験を振り返っての反省点を教えてください。

Voice 1

模試などの結果に一喜一憂してしまい一時の結果に左右されていたのが反省点です。国家一般職の模試の結果が良くなかったため、筆記試験を通過するのが厳しいと感じてしまい、官庁訪問の情報などを集めるのを怠っていました。一時の結果に左右されず、自分を信じ続ければ良かったと感じています。

Voice 2

人物試験対策を始める時期が遅くなってしまったことです。結果的に人物試験で不合格になった試験種はなかったのですが、自信を持って面接に臨むことができなかったのもう少し早く対策を始めていればもっと堂々と面接を受けられたのではないかと思います。

Voice 3

筆記試験の対策が甘かったことです。筆記試験で思うような点数を取ることができず、合格発表の時期まで不安になることが多々ありました。なので、ある程度余裕な点数を取ること、自分自身が一番リラックスできるので、筆記試験対策に力を入れるべきであったと反省しています。

Voice 4

試験勉強を始める時期が遅かったことです。直前期にもっと余裕を持って挑むことができれば、筆記試験・人物試験においてより自分のベストが尽くせたと思います。



Voice 5

志望しているところに合格をもらえたので、反省はないです。

Q 8

公務員試験を振り返っての反省点を教えてください。

Voice 6

公務員試験を振り返っての反省点は、苦手科目の対策方法を間違えたことです。私は経済が苦手で、通っていた予備校の講義を受けても全然理解ができず、放置していました。直前の5月になって、違う予備校の経済の講義を受けてみたところ、とてもわかりやすく、点数を取るようになれました。しかし、始めたのが遅くて一日に10時間以上も経済の勉強をする羽目になったので、苦手だからと放置せず、早めに自分に合った勉強方法を探すべきだと感じました。

Voice 7

時事や知識問題など、苦手な科目や好んでない科目を後回しにし、最後までほとんど手をつけない科目もありました。数的処理や文章理解に救われましたが、運が悪ければ点数がかなり低くなるリスクもあったため、反省点です。

Voice 8

大3の12月中旬から勉強を始めましたが、秋くらいから始めていれば余裕を持った計画ができたと思う。論文の対策を始めたのが遅すぎてあまり添削を受けられなかったのもう少し早めに手をつけるべきだった。

Voice 9

年明けからYouTubeにはまってしまって、寝る時間が遅くなり、勉強の支障になってしまったこと。

Voice 10

面接対策が出遅れてしまったことが反省点です。私は、面接対策を筆記試験の後に始めましたが、自己分析だけでも先にやっておけば、もう少し精神的余裕を持って準備できたのかなと思います。

Q 8

公務員試験を振り返っての反省点を教えてください。

Voice 1 1

公務員試験を通しての反省点は、完璧を求めすぎるがあまり、全体のスケジュール感が把握し切れていなかったことがあげられます。具体的には大4の4月あたりに、今までやってきた教養試験と専門試験対策に力を割くあまり、各試験日程の把握や試験科目の把握を漏らしてしまったり、論文試験対策の開始時期が遅れてしまったりと、目の前のことに注力しすぎてしまったことが反省点のように思えます。

Voice 1 2

一番最初の試験で焦って、受験番号を書き忘れてしまうミスをしてしまったことです。

Voice 1 3

中だるみすることが多く、一日中スマホを触って全く勉強しない日何日もあったこと。

Voice 1 4

専門試験の比率が高いので、その対策の時間を多めに取っていましたが、移動時間で教養試験の暗記系の日本史や世界史等の勉強を増やし、1～2点多く取れるような時間をより有効に活用すれば良かったと感じています。

Voice 1 5

論文試験対策として早めに自分の回答を大学や予備校の先生に添削してもらえれば良かったと思いました。直前期になって焦りたくさん書いたことで上達した感覚はありましたが、それでも不安が後々まで残っていた状態で受験しました。添削してもらうには時間がかかりますが、一人で不安でいるよりも結果的に効率的だったのではないかと反省しています。

1

概要説明

2

国家公務員採用試験対策

3

官庁訪問対策

情報収集方法、併願先 P 1 7

対策開始時期と具体的な対策方法 P 1 8

官庁訪問日と心がけたこと P 1 9

苦労した点と感想 P 2 0

待機時間・前日の過ごし方 P 2 1

官庁訪問を振り返っての反省点 P 2 2

国土交通省への決め手 P 2 3 ~ 2 5

国土交通省職員の印象 P 2 6

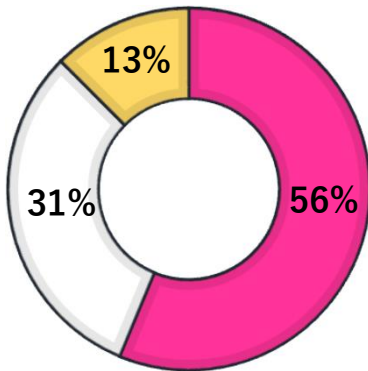
4

その他お役立ち情報満載

官庁訪問編

Q 1

国土交通省の業務内容等について
どのように情報収集をしていましたか？



情報収集の手段

■ HP □ イベント ■ X (旧Twitter)



お役立ち情報てんこ盛り。
今すぐCheck！！

◆採用HP



◆Facebook



◆X(旧Twitter)



◆Instagram



基本情報はHP
+ αな情報は
Instagramから！

・業務説明会
・テーマ別説明会
・座談会
参加して良かった！

X(旧Twitter) を
フォローすることで
採用情報、日々の業
務内容、説明会情報
など様々な情報を
ゲットできた！

若手職員の方の
仕事内容や、や
りがいい、そして
志望動機など
Facebookで知る
事が出来た！

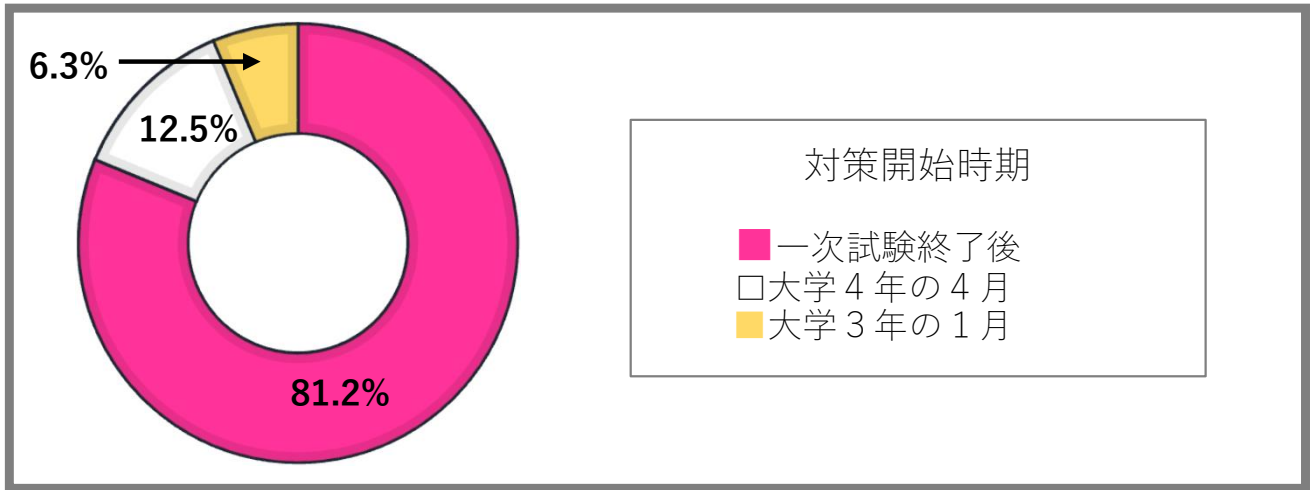
Q 2

官民間わず、併願先を教えてください。

総合職	他省庁	裁判所事務官	国税専門官
都道府県庁	特別区	市役所	民間

Next question>>

官庁訪問の対策開始時期と具体的な対策方法

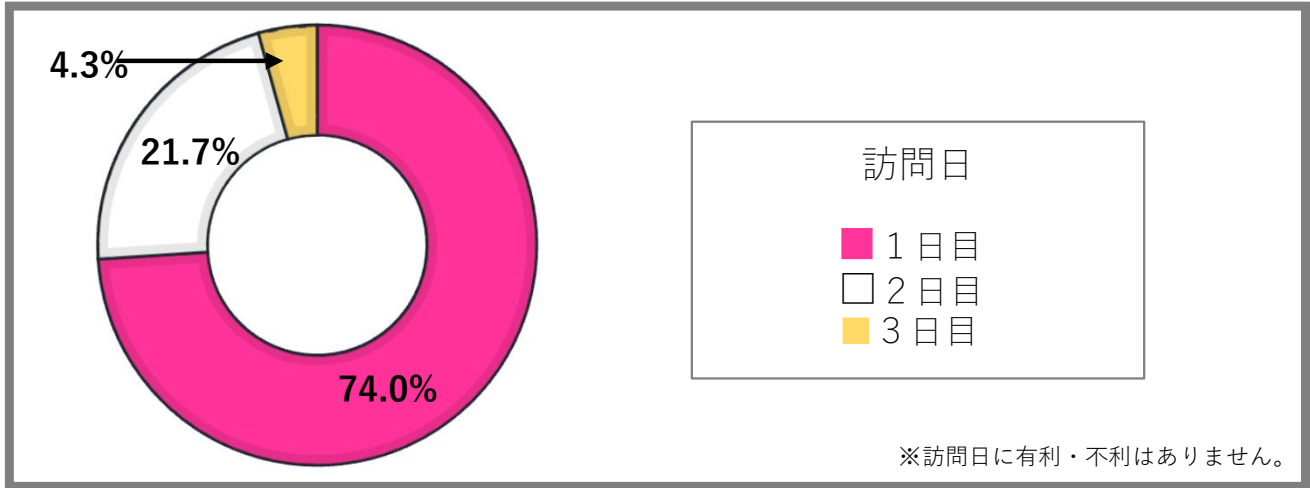


Answer

- ・説明会や座談会で情報収集するとともに、予備校の官庁訪問体験記などを活用して予想質問を考えていました。
- ・他省庁の説明会にも積極的に参加し、志望動機などにおいて他省庁と差別化できるように意識していました。
- ・積極的に説明会に参加し、そこで得た情報を基に志望動機を明確化した。
- ・説明会で触れられた施策で気になるものを調べたり、今までの説明会で配布されてきた資料を繰り返し読んだ。
- ・仕事内容よりも人柄に関する質問が多いと聞いていたため、趣味などのプライベートな話であっても何でも答えられるよう準備した。
- ・自分が伝えたいことをしっかり表現できるようにノートにまとめ、それが自分らしさが表されているか等に意識しながら面接対策を行った。
- ・想定質問に対して箇条書きで自分の考えや思いをWordにまとめ、国土交通省のHPで興味のある業務内容について細かく調べました。
- ・観光白書を読み、自分の興味のある施策を中心に幅広く情報を集めました。国土交通省に関する最新のニュースも積極的に読むようにしました。

など

国土交通省への官庁訪問日と
官庁訪問で心掛けた事を教えてください。



Answer

- ・変に力を入れすぎず、ありのままの自分を出すことを意識していました。
- ・初対面の人と接するときは第一印象が強く残るので、挨拶など最初の一言を大きくすることを意識しました。ハキハキと話すことで面接官の方に良い印象を持ってもらえると思うので、第一印象を気をつける方が良いと思います。
- ・絶対に初日に行った方が印象が良いと言われていたので、初日に行きました。
- ・コミュニケーションで相手方に与える印象は9割以上が視覚と聴覚によるものというデータもあるので、ハキハキと返事や挨拶をすることや目を見て話すことなどを意識していました。
- ・とにかく笑顔で元気よくいること
- ・国土交通省に対してどれくらいの熱意を持って訪問しているのかを伝えようと心がけていました。
- ・今まで準備してきたことが無駄にならないように所作や顔の表情等細かなところを緊張しながらも心がけた。

など

Q 5

官庁訪問で何か苦労した点がありましたか。

Answer

- ・思ったより待機時間が長く、集中力を維持させることです。適度に息抜きをすることでリフレッシュしていました。
- ・一番はじめに名前を呼ばれ、あまり心の準備ができないまま望むことになったことです。いつ呼ばれても良いように、会場に到着した時点から心の準備をしておくべきだったと思います。
- ・待機時間が長いので、なかなか落ち着かなかったこと。
- ・建物が大きすぎて道に迷い、駅からの入り口を間違えたことです。
- ・いつ呼ばれるか分からない時間の中で常に見られているという意識の緊張が最も苦労しました。
- ・部屋に入って椅子に座ったら急に緊張して、頭の中が真っ白になってしまったことです。なんとか冷静になって話すことができましたが、予想以上に緊張したので焦りました。

Q 6

官庁訪問の率直な感想を聞かせてください。

Answer

- ・想像していたよりも和やかな雰囲気だった。
- ・官庁訪問は今まで受けてきた面接の中で一番カロリーを使う面接でした。
- ・精神的にも身体的にも疲労を感じた。
- ・官庁訪問は何日もかかるもの、何時間も待たされるものと思っていたので、思ったよりも早く終わったことに驚きました。また、思った以上にフレンドリーに話しかけていただけたり、趣味の話が盛り上がりたりなど、職員の方が気さくで、堅苦しい雰囲気ではなかったことが印象に残っています。
- ・他の公務員試験に比べて、国土交通省の官庁訪問はリラックスした雰囲気で行われる。
- ・待ち時間が長くて大変ではありますが、他の受験者の方と話すことで緊張も緩和され、他の試験などの情報共有もできるので良い経験でした。
- ・緊張しましたが、面接官の方が笑顔で接して下さったので私も笑顔で頑張ることができました。

Next question>>

Q 7

官庁訪問の待機時間はどのように過ごしていましたか。
また、来年度の受験生へ向けて持ち物として
準備しておいた方が良いものなどありましたら教えてください。

Answer

- ・持ってきた資料を読んでイメージトレーニングをしたり、隣や周りの人と会話をしたりして過ごしていました。人によっては待機時間がかなり長くなる人もいると思うので、資料以外にも本など時間を潰せるものがあると良いと思います。
- ・面接が終わるごとにノートに聞かれたことをメモしたり、想定質問を見返したりしたのでノートがあるといいかもしれません。
- ・本を読んだり志望動機をよりわかりやすく練り直したり、仮眠を取るなどしました。待機場所は軽食が許されていたのでチョコなど持っていくと空腹も心も満たされると思います。
- ・待ち時間が長いので、考えている以上にいろいろ資料を持ってきていると時間がうまく使えると思います。

Q 8

官庁訪問前日の過ごし方を教えてください。

Answer

- ・日中は、人事院主催の各府省説明会があったので、オンラインで参加した。夜は、翌日に備えて早めに寝ました。
- ・アニメをみて、面接練習をし、バイトをするといういつもの1日を過ごした。
- ・翌日のことを意識しすぎると、緊張で夜眠ることができなくなるので、可能な限り普通に過ごすことを心がけた。
- ・友人とTeamsで面接練習をした。
- ・完璧な準備をした後、緊張でなかなか寝ることができなかった。

Q 9

官庁訪問を振り返っての反省点を教えてください。

Answer

- ・少し深掘りされると答えに詰まってしまった質問もあったので、想定質問の準備が足りなかったです。
- ・いつ呼ばれても良いように心の準備をしておけばよかった。
- ・反省点はありません。
- ・前日にはもっと余裕を持って、多く睡眠を取れば良かったです。
- ・待合室で誰にも話しかけられなかったこと。
- ・自分の伝えたいことはすべて伝えられた。
- ・マスクを外しての面接だと思わず、血色感のない唇で面接に挑んでしまったことです。
- ・体調管理はしっかりしましょう。
- ・自分の特徴などを伝えきることができなかった。
- ・早口で話してしまった。
- ・もう少し早くから準備をしておくべきだった。

Q10

数ある内定の中から、最終的に
国土交通省への入省を選んだ決め手を教えてください！

Voice 1

もともと、国土交通省が第一志望で公務員試験を始めたので、内定をもらえた時点で他の併願先は辞退しました。

Voice 2

さまざまな機関の業務内容などを知っていく中で、やってみたいと感じた業務が一番多かったのが、国土交通省だったからです。

Voice 3

国会対応や法改正に携われることに大きな魅力を感じました。このように、より広いフィールドで社会に貢献することができるのは国の行政機関でしかできないことだと思います。

Voice 4

座談会にて職員の方や国土交通省で働いているゼミの先輩、その他の中央官庁で働いている知り合いの方に何度も相談やお話をさせていただいて、国家公務員として国土交通省で働く上での不安がすべて解消されたので選びました。他の併願先よりも職員の方と直接お話しできる機会が多く、また、就職先を選ぶ際には重要でも直接聞きにくい話題についてもお話ししてくださったので、信頼できる職場だと考えて選びました。

Voice 5

幅広い影響力、業務領域に魅力を感じたから。

Next >>

Q 1 0

数ある内定の中から、最終的に
国土交通省への入省を選んだ決め手を教えてください！

Voice 6

地方の住民との距離の近さも魅力的でしたが、自分の興味のある仕事とそうでない仕事が含まれる仕事の幅がネックでした。国土交通省は仕事の幅が広いとはいえ専門分野の中での広さなので、どの仕事にも興味を持てると感じたからです。

Voice 7

もともとまちづくりに興味があり、一番身近に関われる職場だと思った。
また、説明会での職員の方の人柄も好印象だった。

Voice 8

第一志望だったため

Voice 9

まずは自分の好きなことを仕事にしたいと思ったことが一つの理由です。他の団体でもやりたいことはありましたが、国土交通省では唯一好きなことにほぼ確実に携われる志望先だったので、選びました。もう一つの理由としては、より広い視点から日本全体のことを考えて仕事をしたいと考えたためです。

Voice 1 0

交通インフラに専門的に携われるのは国土交通省でしかないため。

Q 1 0

数ある内定の中から、最終的に
国土交通省への入省を選んだ決め手を教えてください！

Voice 1 1

業務の幅の広さが楽しそうで、転勤がないことが働きやすいと思ったからです。

Voice 1 2

どの併願先も魅力的ですが、自身の取り組みたいことを再度考えた際に、日本国民の生活や日本の魅力を高めていきたいと考え、国土交通省を選択しました。

Voice 1 3

民間に比べて幅広い分野に携わることができるに加え、職員の方々がとても優しい雰囲気と一緒に働かせていただきたいと思ったからです。

Voice 1 4

特定の地域ではなく、全国各地に影響を及ぼす大規模な仕事に携わることができるからです。



Q 1 1

官庁訪問や説明会などのイベントを通しての
国土交通省職員の印象はいかがでしたか？

◎親しみやすい！！

◎職場の雰囲気がよさそう！

◎座談会でお話しされる職員の方がどの方も楽しそうに話をされるので、活気ある明るい職場だという空気を感ずることができました。

◎国土交通省のイベントは、各局の業務内容を詳しく説明する回があるので、興味がある局の説明会は参加することをおすすめします。実際に説明を聞くことで、ぼんやりしていた業務内容の把握や国家公務員の仕事のスケールの大きさを学ぶことができました。

◎イベントへの参加を重ねていくうちに国交省への入省意欲が高まりました。現在活躍されている職員の方々のお話は大きな刺激となりました。

◎座談会の感想として、女性の職員の方ともたくさんお話しする機会があったのがありがたかったです。採用者数の男女比やもともとのイメージで女性の少なさを懸念していたため、女性にとっても働きやすい職場であると分かったのが良かったです。

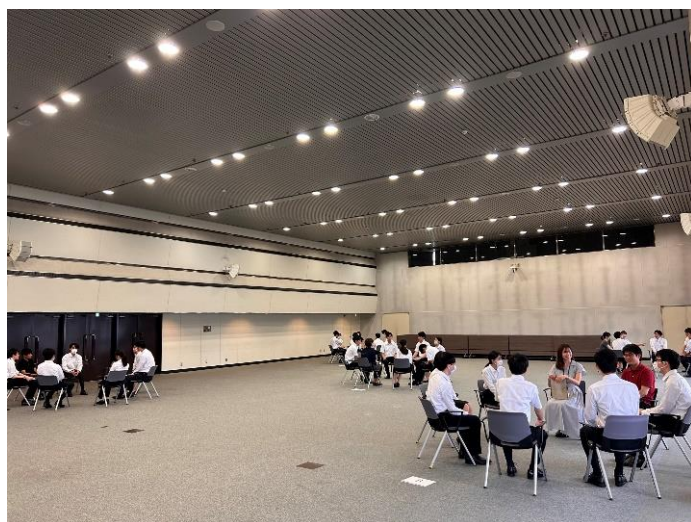
◎一次試験後の個別業務説明会がすごく厚みのある内容で参加して良かったと思います。

◎業務説明会ではどのような業務を行っているかを聞け、座談会では働き方などよりリアルなことを聞けて貴重な機会だった。

◎どの職員の方も笑顔で明るくお話しされていたことが印象的でした。業務に関することもわかりやすく伝えてくださったので、理解も深まりました。



〔業務説明会〕



〔座談会〕

Next topic>>

1

概要説明

2

国家公務員採用試験対策

3

官庁訪問対策

4

その他お役立ち情報満載

内定者インタビュー・・・・・・・・・・ P 28～37

若手職員の1日を紹介・・・・・・・・・・ P 38

よくある質問解消してみた・・・・・・・・ P 39～40

キャリアパスと採用実績・・・・・・・・・・ P 41

アクセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 42

内定者インタビュー

内定者を代表して、9名の方にインタビューを行いました！
国家公務員を目指したきっかけや国土交通省の志望動機、国土交通省を目指す皆様へ向けたメッセージもあります！
内定者からのインタビューに先駆けて、採用担当の3年目・男性職員にインタビューを行いましたので、まずはこちらから目を通してみてください！

K・Mさん(3年目・採用担当)

①学部・学科

経済学部・経済学科

②部活・サークル

サッカー

③趣味／特技

ゴルフ／腹話術

④アピールポイント

仕事も遊びも常に全力

⑤今後の予定

全国のゴルフ場探訪



～国土交通省を目指す学生へ採用担当からメッセージ～

入省してまもなく4年目を迎えようとしています。入省後ほとんどの時間を採用担当として業務説明会などの表舞台に立ち、国土交通省の魅力を多くの学生たちへ伝えてきた中で、改めて国土交通省のフィールドの広さや人々の生活と密接に関わっており、組織として広く日本社会に大きな影響を与える立場にあるということを実感しています。そのような活動を通して、国土交通省に興味を持った学生たちが試験を通過し内定を勝ち取る、採用担当としてこれほどまでに嬉しいことはありません。

一方で、休日は専らゴルフに熱中しており、公私ともに充実した日々を過ごせています。このように、皆さんにも必ず明るい未来が待っていると思います。

公務員試験は長期戦ですが、最後まで諦めず頑張ってください。一緒に働けること、そして、皆様の今後の活躍を楽しみにしています！

Profile No.1

Y・Iさん(男性・既卒)

①学部・学科

社会学部・社会学科

②部活・サークル

卓球、学園祭実行委員

③趣味／特技

音楽鑑賞、旅行、サウナ

④アピールポイント

物事をやり抜く継続力と目標達成力

⑤今後の予定

旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

国土交通省を目指したきっかけは、人のために働く楽しさを知ったことで、多くの人のために働きたいと考えたからです。その中で前職で駅員として勤務しており、鉄道や観光が生活に欠かせない存在であると実感しました。そこで、交通や観光の面から国の政策に関わることで、国民生活を支えることに貢献したいという思いが芽生え、志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

公務員試験の勉強は長く苦しいですが、明るい未来を想像して頑張ってください！特に働きながら勉強されている方は、仕事と試験勉強の両立でとても大変だと思いますが、その努力が報われる日が必ず来ます！

日本のインフラを支える国土交通省で一緒に働ける日を楽しみにしています。

Profile No.2

S・Iさん(男性・新卒)

①学部・学科

法学部・法律学科

②部活・サークル

③趣味／特技

野球観戦、モータースポーツ観戦

④アピールポイント

忍耐力

⑤今後の予定

旅行（国内、海外ともに）



～国土交通省の志望動機を教えてください～

国家公務員を目指すきっかけは、国全体に対する仕事に取り組むことにより、その分大きなやりがいを感じられるのではないかと考えたからです。その中で国土交通省を志望した理由は、私に関心を持っていたカーボンニュートラルの実現に関して、公共交通の利用促進など様々な角度から関わることをできると考えたためです。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

公務員試験は本当に長丁場の闘いになるので、あせらずにコツコツ努力を続けていくことが大切になると思います。時にはリフレッシュも挟みつつ、最後まであきらめずに頑張ってください！

Profile No.3

M・Oさん(男性・新卒)

①学部・学科

法学部

②部活・サークル

法律

③趣味／特技

漫画・クラシック鑑賞／動画編集

④アピールポイント

責任感・忍耐力

⑤今後の予定

アルバイト



～国土交通省の志望動機を教えてください～

私は大学における学習経験を通して社会全体の利益に貢献することを責務とする国家公務員に魅力を感じました。社会資本整備とモビリティ・観光に関する政策を通じて、全ての国民の生活を支えることを責務とする国土交通省に魅力を感じ、志望しました。

その上で、鉄道でのホームドアの搬入・設置のアルバイトの経験は国民の安心と安全を支えることのやりがいを感じることができ、国土交通省を志望する大きな要因となりました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

国交省は他省庁に比べて所管業務が幅広いながらも、その政策は国民の生活に大きな影響を与え、常に責任が伴うやりがいのある仕事だと思います。就職活動は人生のターニングポイントです。これまでの人生に誇りを持ち、熱意を持って就職活動に取り組んでください。

Profile No.4

N・Kさん(女性・新卒)

①学部・学科

法学部・法律学科

②部活・サークル

ボランティア

③趣味／特技

テニス／すぐに人の顔と名前を覚えられる

④アピールポイント

目標達成能力

⑤今後の予定

ドライブや旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

私は父が鉄道会社に勤めていることから、地方の公共交通機関の維持をはじめとした運輸部門に興味を持ちました。人々の移動手段としてだけでなく、安定的な物流の確保や地域活性化も担っている交通機関は国全体にとって必要不可欠なものであり、それを将来にわたり維持・強化する仕事をしたいと考えて志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

私自身、実は国土交通省に就職するとは全然思っていませんでした。しかし、説明会で海事局を初めて知った時、ここで働きたい！と強く感じて志望し、官庁訪問で内定を得ることができました。今後受験される皆さんも、国土交通省についてたくさん調べ、やりたい仕事を明確にすれば、その熱意は必ず人事の方に伝わると思います。試験勉強は大変だと思いますが最後まで頑張ってください！

Profile No.5

R・Sさん(女性・新卒)

①学部・学科

商学部・経営学科

②部活・サークル

サッカー (マネージャー)

③趣味／特技

体を動かすこと／チョコレートメーカー当て

④アピールポイント

周りを見て相手目線で考えられること

⑤今後の予定

旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

あらゆる人が平等に生きられる社会を実現したいと考え、国家公務員を志望しました。中でも祖母が田舎に住んでおり、公共交通の利便性を高めることで地域における暮らしの質を確保し、国民の生活基盤を支えたいと思い国土交通省を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

周りの就職先が決まるにつれ、将来への不安や様々な誘惑が出てくると思います。特に、私と同じように公務員一本で挑まれている方にとっては、内定がないという状態は精神的に不安定になることもあるかもしれません。しかし、受験日のぎりぎりまで諦めずに勉強を続ければ、きっと報われる日が来ます。最後まで頑張ってください！

Profile No.6

R・Sさん(男性・新卒)

①学部・学科

法学部・法律学科

②部活・サークル

軽音楽軽

③趣味／特技

国内旅行、ドライブ、音楽鑑賞

④アピールポイント

自分の立場に応じて求められる役割をこなせる

⑤今後の予定

超長期間の旅行、語学や投資の勉強



～国土交通省の志望動機を教えてください～

そもそも交通機関などに興味があったことから、それに関する職業に就きたいと思っていたことがきっかけです。その中で、国家公務員の立場からはある一都市だけでなく国全体を幅広い視点から俯瞰し、個別具体的な課題解決ができるのではないかと考え志望しました。また、モビリティ・観光立国系は観光庁の採用窓口でもあり、インフラを生かした観光資源の再発掘をすることで日本全体の国力を上げていけるのではないかと考えたことも理由の一つです。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

公務員試験はとても長丁場で諦めなくなる時もあるかもしれませんが、1年後の今頃にはとっくに解放されています。今後の人生を大きく左右するものなので、腹を括って最後まで走り切ってください。そしてそのゴールが国土交通省であれば嬉しく思います。頑張ってください！

Profile No.7

R・Tさん(男性・新卒)

①学部・学科

法学部・法律学科

②部活・サークル

ハンドボール

③趣味／特技

旅行、ウォーキング、サッカー、ハンドボール

④アピールポイント

コツコツと努力できること

⑤今後の予定

国内や海外への旅行、ライブ観戦



～国土交通省の志望動機を教えてください～

中学生の頃、観光をテーマに扱った小説を読み、自分も観光に携われる職に就きたいと思いました。その中で、一度は民間企業への就職を考えましたが、観光業界に対して広く大きな視点かつ最前線で貢献していきたいと考え、観光庁の採用窓口である国土交通省のモビリティ・観光立国系を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

公務員試験は長期戦なため自分との闘いだと思います。辛い時は自分だけで抱え込みすぎずに、家族や友人と話すことだけでもかなり気持ちが楽になります。たまには何もしない日を作ることで心が安定するので、息抜きも大事にしながら続けられるといい状態で臨めます。国土交通省で自分が何をしたいかを明確にすることで、面接もうまくいくと思うので応援しています！

Profile No.8

R・Tさん(男性・新卒)

①学部・学科

国際日本学部・国際文化交流学科

②部活・サークル

③趣味／特技

音楽を聴くこと、体を動かすこと

④アピールポイント

人や周りを見る力と諦めない努力

⑤今後の予定

卒論、国内旅行（北海道、広島、香川、沖縄）



～国土交通省の志望動機を教えてください～

大学進学を機に上京し、旅行や観光の機会が増えたことで、日本の観光における魅力だけでなく、交通網の安全性や効率性の高さを肌で感じるようになった経験から、ポストコロナに向けた外国人観光客の集客への取り組みに貢献し、国内外問わず、安全安心な交通を実現したいと思い、国家公務員である国土交通省を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

学歴等は気にしないでください！自分自身がやりたいことや目標が明確であれば、それに向かって突き進むしかありません。正直、勉学は辛いです。しかし、必ず頑張った分の努力は実ると私は思っています。是非、全力で取り組んでみてください。応援しています！

Profile No.9

M・Mさん(女性・新卒)

①学部・学科

政治経済学部・経済学科

②部活・サークル

クッキング

③趣味／特技

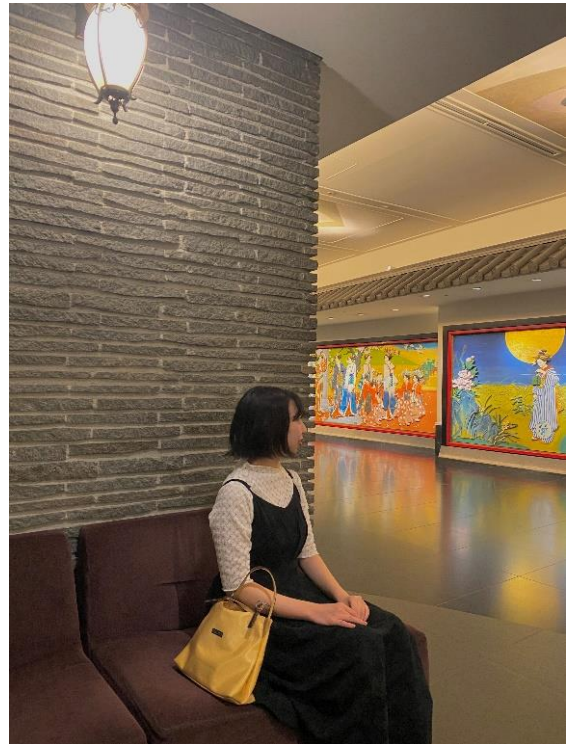
街歩き、お菓子作り

④アピールポイント

思いやり

⑤今後の予定

旅行、本をたくさん読む



～国土交通省の志望動機を教えてください～

私は鉄道貨物輸送に興味があり、モーダルシフトを進めたいと考え国土交通省を目指すことに決めたことが国家公務員試験を受験したきっかけです。環境問題や労働環境、災害対策など様々な課題を持つ物流業界を鉄道貨物輸送で改善し、国民の生活を支援したいと思い志望しました。インフラ関連事業では膨大な予算がかかり民間ではなかなか進まないこともあり、国家公務員として支えたいという思いから国家公務員を選びました。

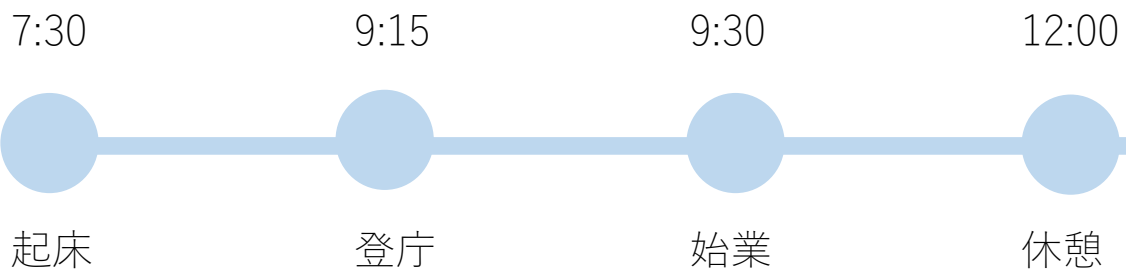
～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

公務員試験に挑戦することは自分との闘い続きで孤独を感じることも多いかと思いますが、周りと比べて焦る必要はないです。SNSなどを見るとたくさん勉強をしている人がいて不安になることもあるかもしれませんが、息抜きをするなど自分のペースを崩さないことが大切だと思います！自分を信じて頑張ってください！！

わたしのとある 1 日

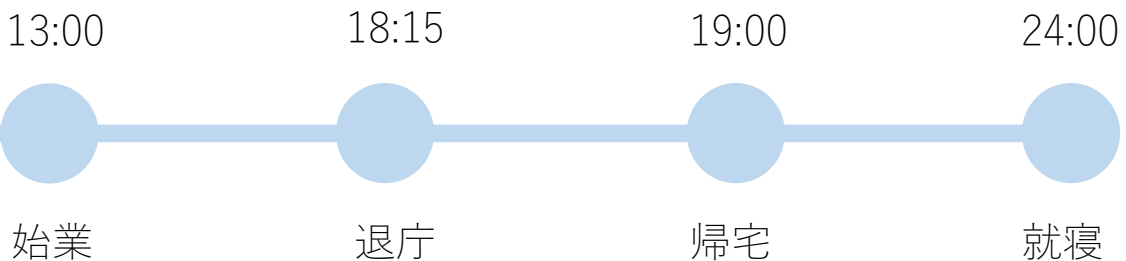
実際に自分が働くこととなった場合にどのような 1 日を過ごすのか、少しでもイメージを持ちやすいようにとインタビューに答えていただいた K・M さんがご自身のとある 1 日を紹介してくれました！

基本的な就業時間は、9:30～18:15（休憩1時間含む）となります。



午前中は主に
メールや電話対応

13:00までお昼休憩



午後は課内や係内での打ち合わせや資料を作成し、作成した資料を上司に確認してもらう等



帰宅後はゴルフの練習やジム・サウナへ行ってリフレッシュ



よくある質問 解消してみた。

業務説明会などでよくいただく質問に回答。
業務説明会でも沢山の質問にお答えしていますので
是非気軽に参加してみてください！

Question 1 採用にあたっては、どのような人材を求めているのですか。

ローカルからグローバルまで、幅広いフィールドで活躍する人材として、幅広い分野への興味、広い視野、高いプロ意識を持って現場と向き合い、着実に日本を良くしていこうという志をもった方を求めています。

Question 2 業務説明会の参加・不参加は、採用の可否に影響がありますか。

人事院主催の説明会や、国土交通省独自に開催する説明会は、当省の業務内容を多くの方々に知って頂くための機会と捉えています。
従って、説明会への参加・不参加が、採用にあたって不利益になるということはありません。
ただ、こうした説明会は業務内容についての理解を深められるだけでなく、実際に働いている職員の生の声を聞ける良い機会でもありますので、是非積極的にご参加下さい。

Question 3 出身校や学部、公務員試験の順位や年齢（民間経験有り）は、採用の可否に影響がありますか。

公務員試験に最終合格すれば、その後の官庁訪問において、上記の条件により不利・有利の差が出ることはありません。
国土交通省では、人物重視の面接を行っています。

Question 4 配属や異動はどのようにして決まるのですか。

国土交通省の業務は多様であるとともに、社会の動きに応じて日々変化しています。
したがって、配属や異動については、それまでに得てきた知識・経験、本人の希望・適性等を総合的に踏まえて決定されます。

Question 5 本省以外の職場で働く機会がありますか。

地方運輸局などの地方支分部局において、より地元に着した場面で国土交通行政を担う機会があるほか、他省庁や地方公共団体に出向し、国土交通省の職員として培った知識・経験を活かして地方行政に携わるチャンスもあります。また、在外公館での勤務や本人の努力次第では海外の大学院に留学する機会もあります。

Question 6 女性にとって働きやすい職場ですか。

国土交通省では既に多くの女性職員が働いており、女性だから、男性だからということで仕事の内容に差はありません。また、産前・産後休暇、育児休業等の制度もあり、結婚・出産後も活躍している女性が増えてきています。

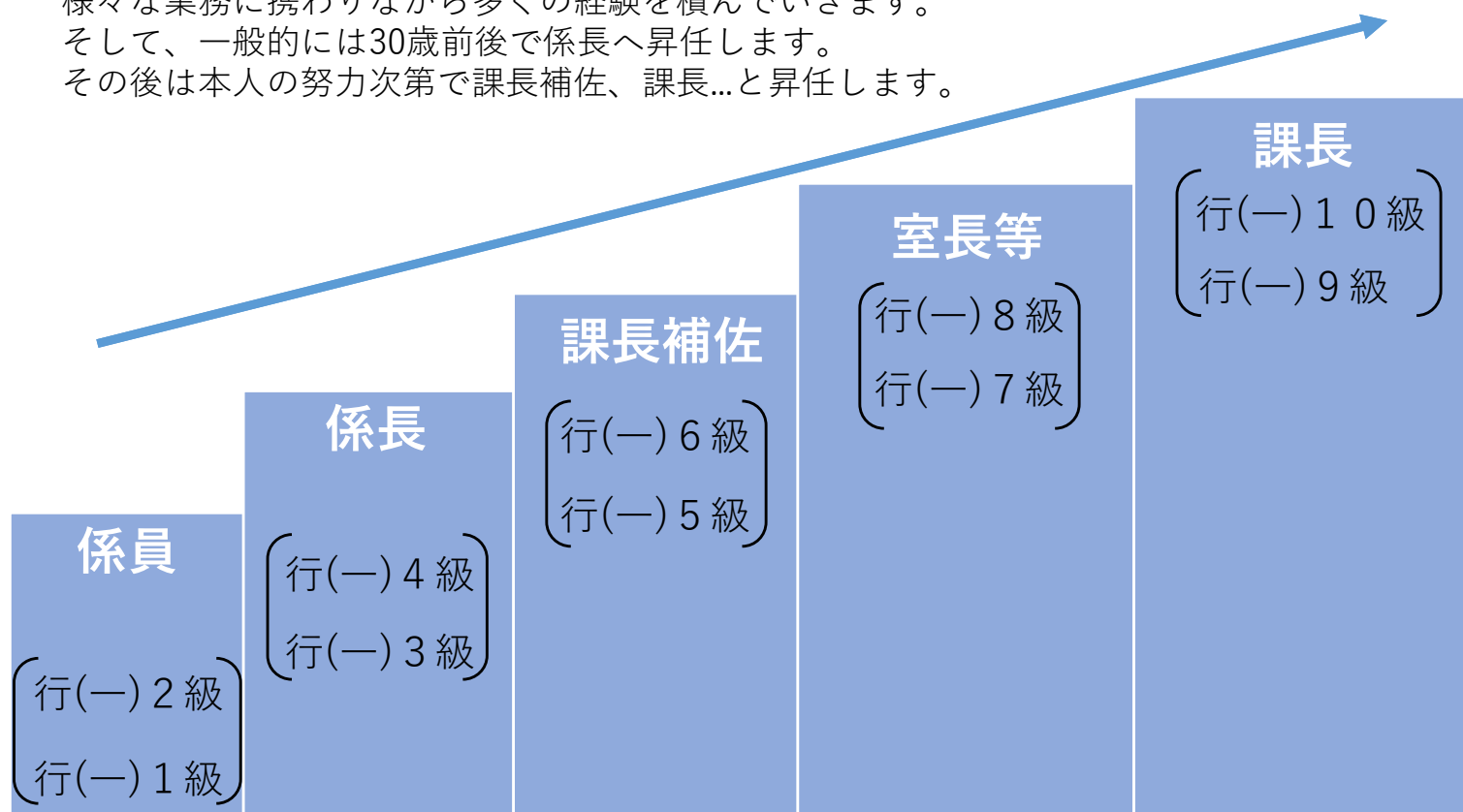
Question 7 モビリティ・観光立国系では内定後、入省までの間に何かイベントなどがありますか？

令和5年度は、座談会や懇親会、施設見学を行いました。
座談会では、採用担当職員以外にも様々な部局から内定者と年齢が近い若手職員が参加し、非常に盛り上がっていました！内定者からは、ざっくばらんに職員と色々と話せたことで、より明確に入省後のイメージが出来たなどの声をいただいています。座談会の後は、採用担当と内定者で懇親会を開催し、この先同期となる仲間との絆を深めました！
また、施設見学では防災センターへ行き、設備の説明などを受けた後に、大臣や事務次官になりきって災害が起きた際のシミュレーションに挑戦しました。



キャリアパス

採用直後は、本省係員として各局等の課や室などに配属されます。
配属後は人事異動により、概ね2～3年のサイクルで担当業務が替わり、
様々な業務に携わりながら多くの経験を積んでいきます。
そして、一般的には30歳前後で係長へ昇任します。
その後は本人の努力次第で課長補佐、課長...と昇任します。



基本的には、本省（霞ヶ関）での勤務が中心となります。
本人の希望を考慮した上で、2年程度、地方機関や自治体等、
様々な職場で活躍するチャンスもあります。

採用実績

採用実績		R3	R4	R5
一般職（大卒程度）	事務系	63(22)	61(19)	56(20)

※実績は、社会資本整備系との合計数になります。
※（ ）内の数は、女性採用者数です。

◎新卒に限らず、既卒者の採用も積極的に行っております！

アクセス情報

【所在地】

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3中央合同庁舎3号館

東京都千代田区霞が関2-1-2中央合同庁舎2号館（分館）

代表番号 03-5253-8111

【最寄り駅】

東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線 霞ヶ関駅 A2、A3a、A3b出口

東京メトロ有楽町線 桜田門駅 2番出口



